すゅうこうせい も 中高生向け



すべての子どもが安心してくらせるようになるために



デジタル版

こんな悩みはありませんか?

大人の意見を 押し付けられる



SNSで ^{たるぐち} 悪口を書かれる



いじめられて 傷ついている



安心できる 居場所がない



った。 家の手伝いが多くて 宿題ができない



困ったときに 相談できる ところがない





子どもの権利が守られていない一例です。 子どもの豊かで健やかな育ちについて 考えてみませんか?



三重県子ども条例の紹介

字どもの権利条約の理念にのっとり、 字どもの権利が保障される社会の実現を 首指して制定された条例です。

条例が大事にしていること (基本理念)

こともは、生まれながらに 佐利を有し、いかなる理由による 差別も受けることがない



字どもも大人と簡じようにたくさん たり 権利をもっていて、 子どもだけが持つ権利もあります。 したというでは、対している。 大種、性別の、考え方、障がい、経済状況など、 どんな理由でも差別されません。

こともは、自分の意見を表明し、 たままましたかいてきかっとう 多様な社会的活動に 参加することができる



字どもは自分の憩いや意覚を自由に 大人に伝えることができます。 学校や地域の社会活動に参加したり、 子どもの意覚を社会に生かしたりすることが できます。 「こともは、生命及び健康が守られ、 すことができるとができる



子どもは犯罪や事故、危ないことから 寺られ、健やかに育つことができます。

> こともは意見が尊重され、 はがぜんりまきしこうりょ 最善の利益が考慮される



字どもの意見が大切にされます。 大人は、字どもにとって、もっともよいことは何かを優先して考えます。

子どもの権利条約とは

1989年に国連総会において採択。日本は1994年に締約国となりました。 日本は1994年に締約国となりました。 子どもも、大人と同様にひとりの人間として権利を認め、成長の過程にあって保護や配慮が必要な子どもならではの権利を定めています。

子どものために大人がやること

大人は子どもの権利を守るために、それぞれ役割を持っています。 みんなが協力して、子どもを支えます。

子ど

字どもを大切に替てる責任があることを理解し、行政や支援団体などから必要なサポートを受けながら、子どもが安立して育つ環境を作るように努めます。

じ ぎょうしゃ 古 **坐 土**

大が仕事と家庭の両方で を実した生活ができるように は、は、かんきほうととの できるように 職場できるように もいができるように もいができるように を整え、地域で子ども が成長できるように支援する 取組の推進に努めます。

学校等関係者

子どもの安全の確保や子どもが をないして学び、育つことができる 環境づくりに努めます。 子どもが子どもの権利について 整学び、意見を表明することが できるよう支援します。

支援団体

専門性を生かした活動を通じて、 子どもの育ちを見守り、支える よう努めます。

連携協力

けんみん 県民

字どもに関する地鉄について 理解を深め、積極的に協力する よう努めます。



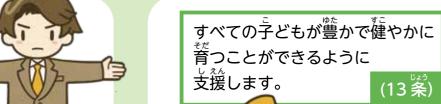
はん

覚は、字どもに関する施策を計画的に進め、字どもの意見や影響の利益を大切にします。 市町と協力し、保護者や学校、地域の人々が協力できるよう支援し、みんなで字どもを 支える収組をサポートします。

メ え けん 三重県がやっていること

たがたい 虐待・いじめなどの けんりしんがい 権利侵害から こ 子どもを守ります。

(11条)



学び

に 居場所づくり 遊び

たいけんかつどう体験活動

うどもの安全と を心のための とりくみ 取組を推進







こ 子どもの権利を 守るための 仕組づくり 特別な支援が必要な 子どもの成長へのサポート

こ 子どもの意見を けん 県の取組に 反映します。

(14条)



こ子どもの権利について、みんなが ないではない。 学ぶ機会を提供します。 (12 条)



子育てをしている家庭が安心して 暮らせるように支援します。 (15 案)



ひとりで悩まないで

家族のこと、将来のこと、友達のこと、 自分のこと、誰にも言えないこと

「誰かに話を聞いてもらいたいけど どうしたらいいかわからない」



「相談するのって少し不安」

そう思うかもしれない。 でも、あなたの気持ちが一番大切だから。 あなたの話を、聞かせてほしい。



子どものための相談電話

こども ほっと ダイヤル

※ひみつは守ります
※電話代はかかりません

☎0800-200-2555

受付 13:00 ~ 21:00 12/29 ~ 1/3 を除く

LINE でも相談できます



うけっけ **受付 13:00 ~ 21:00** 12/29~1/3 を除く

あなたや間りの子の「権利」が守られていないとき、

あなたならどうしますか?

● ネ thú こ 三重県子ども・福祉部 少子化対策課

〒514-8570 三重県津市広明町13

☎:059-224-2404 FAX:059-224-2270 E-mail:shoshika@pref.mie.jp https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001187904.pdf

み えけんこ 三重県子ども条 例 ^{ぜんぶん} の全文

